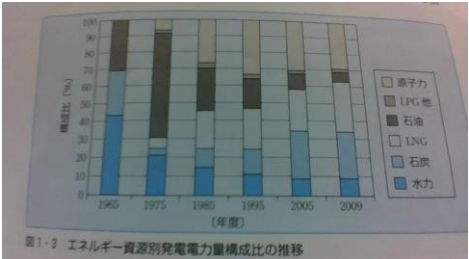


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立倉敷工業高等学校		
実践者等		江谷英順	実践日	令和4年6月
実践場面 （教科・科目（単元名）、学校行事等）		電力技術 授業アンケート（目標の達成状況を把握する）		
対象生徒（学年等）		電気科3年		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他（ ）		
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☒ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【家庭学習】 フォームを活用し、授業で取り扱った内容に対する感想や意見を表現する。 背景 電力技術で取り扱う、原子力発電については取り扱いがとても繊細なものである。教科書で取り扱いのあるデータは文科省のデータだが、インターネット上には他の官公庁の異なるデータも載っており、見方によって多様な捉え方ができる。授業中には表現しにくいような場合もあるので、家庭学習としてフォームを活用したアンケートを実施し、複数のデータを見比べたときの自分の考えや意見を記述式で表現できるようにさせたい。 ・文科省データ（1965～2009）  図1-3 エネルギー資源別発電電力構成比の推移 ・経済産業省のデータ（1973～2018） （URL が制限がかかっていてコピーできません）				
【本時と家庭学習との連動】 授業で取り扱ったデータを電子データとして持ち帰り、比較しやすいように URL なども、履歴に記憶させておくことでスムーズに復習に取り掛かることができる。（ノートを開くよりも楽！！という形にしていきたい。）				